

第2回ワークショップ実施報告書

市川市公共施設に関する市民ワークショップ

いっしょに考えよう！ 市川市の公共施設

- ◆開催日時 平成27年11月15日（日）午前10時～12時
- ◆参加者 21名
- ◆ファシリテーター 芝浦工業大学 工学部建築学科 志村 秀明 教授
- ◆第2回テーマ **「公共施設ごとにどうあるべきか考えよう！」**

第2回目は、前回のワークショップにおいて参加者の意見や発表が多かった「小・中学校」「集会施設」「その他施設（図書館など）」の3つの用途について、グループごとに意見交換を行ないました。

はじめに、自己紹介を兼ねて「今日の意気込み」を各グループ内で語り合った後、各用途について、「課題」、施設にとって「大事なこと」、そして「将来に向けて」の3つを各自付箋（フセン）に記入し、意見交換を行ないながら模造紙にまとめ、グループごとに発表を行ないました。

45分間という限られた作業時間の中で、3用途についてまとめる作業に苦労しながらも、小中学校や公民館、図書館などの「建物」自体のことだけでなく、設備や運営方法、さらには周辺環境や地域性、アクセスについてなど幅広い視点での議論となりました。

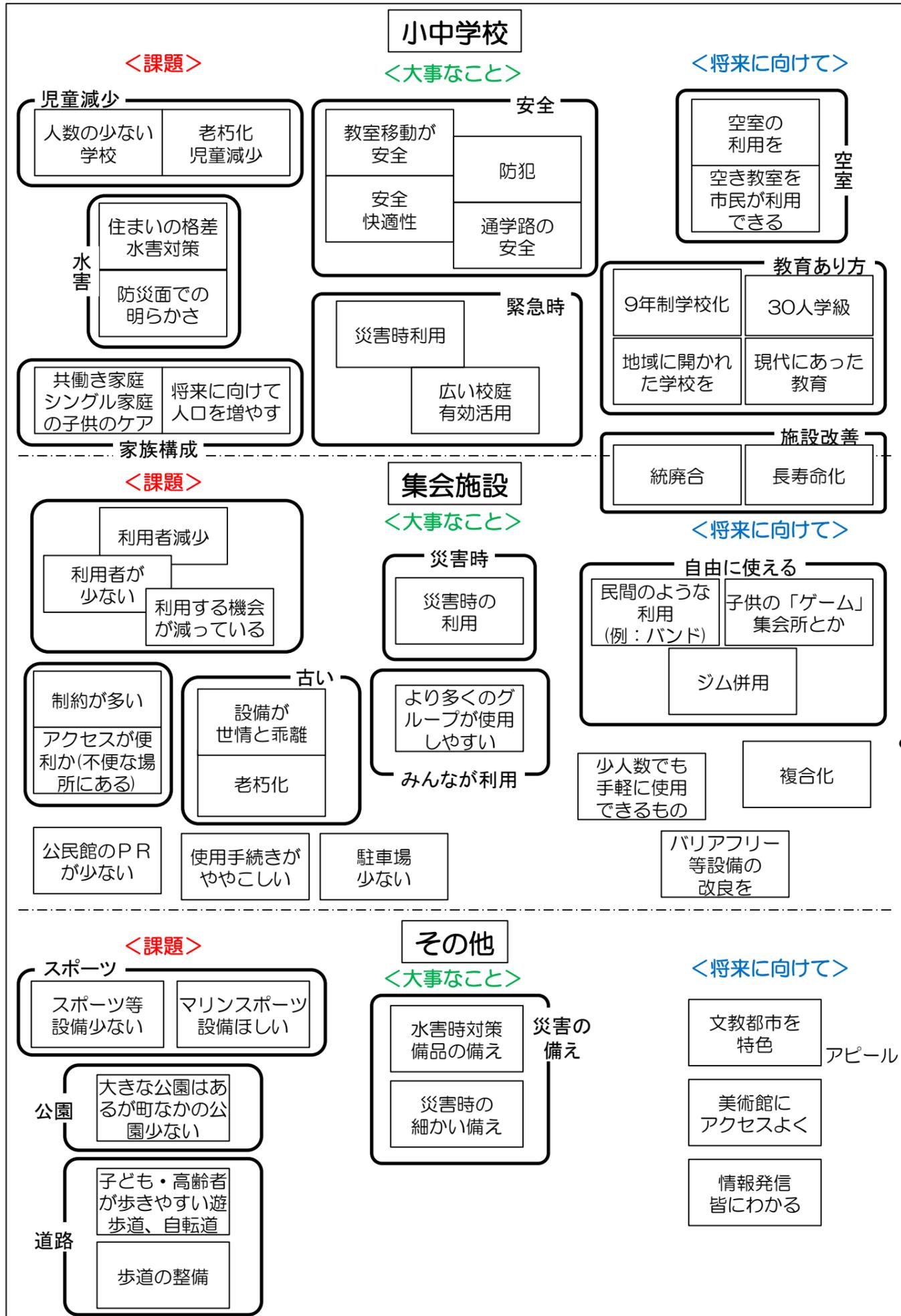


グループワークの様子



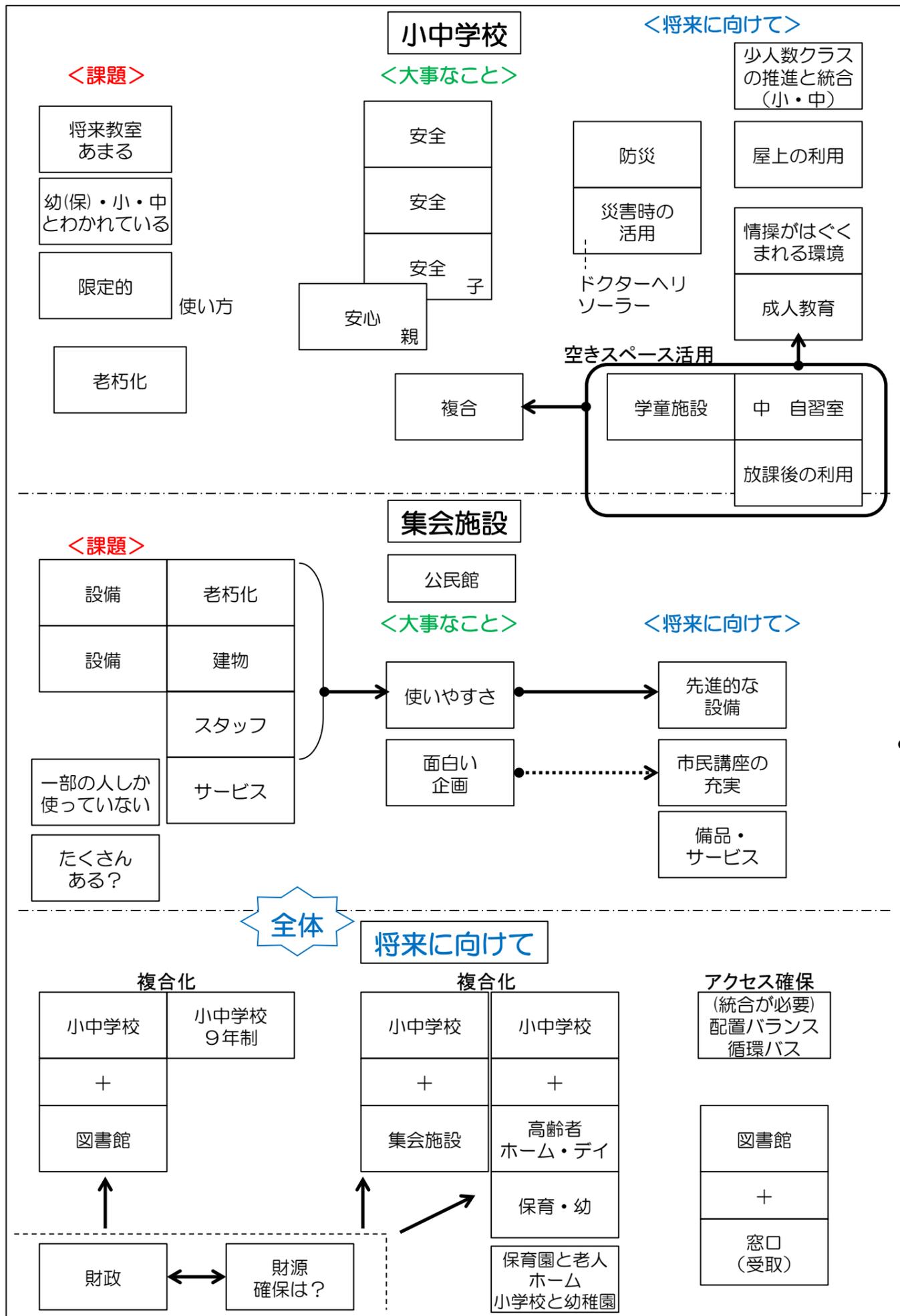
グループ発表の様子

◆ 公共施設ごとにどうあるべきか考えよう ◆

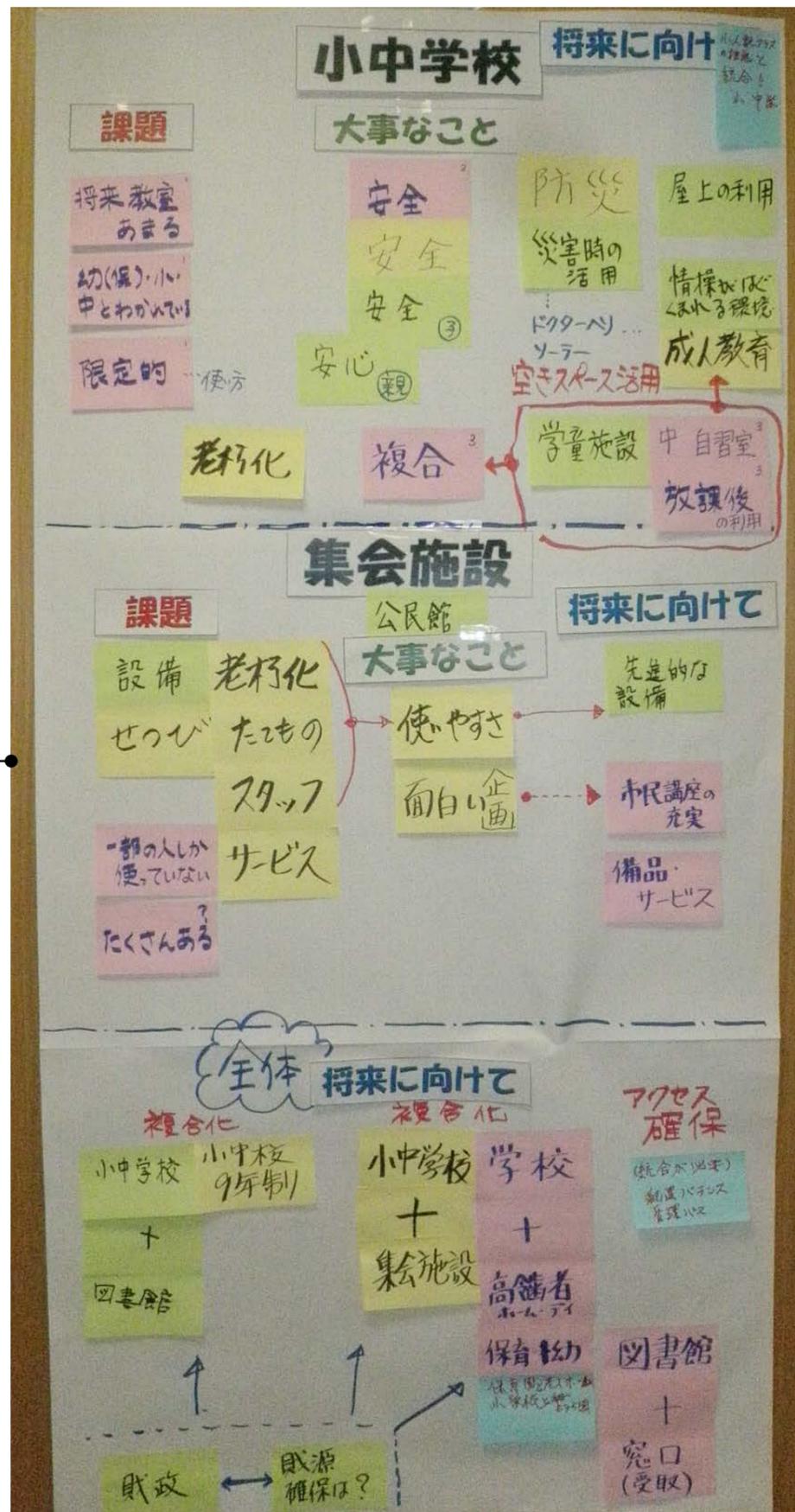


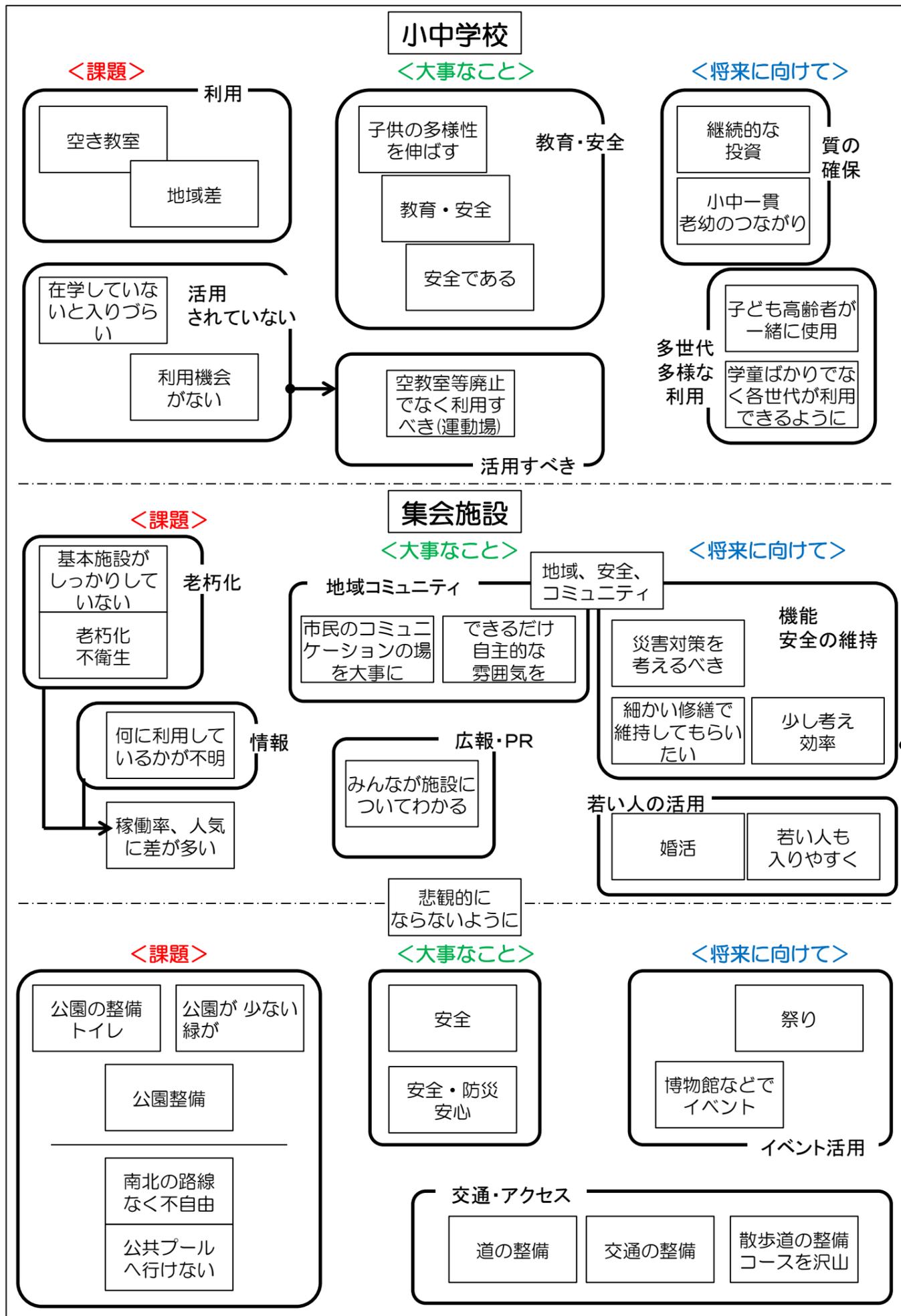
- 学校の課題としては、家族構成の変化や保護者の事情が変わってきていることへの対応が必要となってくるのが考えられる。
- 集会施設は、利用者が減っていることや利用手続き、駐車場等利用をするにも制約があることが課題として考えられる。ジムやバンドの利用などができれば、学生など幅広く活用できるのでは。
- その他に、身近な問題としてスポーツできる施設や身近な公園が少ないと思う。また、お年寄りや子どもが歩きやすい遊歩道などがあるといいと思った。「文教都市」ということのアピールをもっとしたほうがいいと思う。





- 学校の課題としては、将来的に教室が余ることが考えられる。今後は、防災拠点として屋上利用ができないか。放課後空いている時間を自習室として開放したり、成人教育にも活用できないか。
- 集会施設は、設備・建物・スタッフの老朽化が課題である。面白い企画などで市民講座を充実したり、先進的な設備を入れるなどすれば、もっと利用されるのではないか。
- その他に、学校を集会施設や高齢者施設、保育園などと複合化してはどうか。施設の統合は必要だが、距離が離れる施設はコミュニティバスを走らせてはどうか。図書館も遠くなるなら受け取れる仕組みがあればいい。





- 学校の課題としては、空き教室がある学校もあれば、ない学校もあるなど、地域差が生じている。学校によっては外国人が多い学校もあり、多様性に富んでいる。
- 集会施設は、施設の老朽化が進んでおり、トイレも和式ばかり。サークル利用は分かるが、その他何に活用しているのか分からない。若い人も活用できるよう婚活パーティーなどで利用してはどうか。
- その他に、地域によっては公園が少なく、トイレがないところもたくさんある。南北が分断され、行徳は川で分断され、散歩ができない。周辺の道路や散歩道を整備したり、にぎやかなイベントを開催し、継続していくことが大切ではないか。



小中学校

<課題>

教員の教育	いじめに対応先生の待遇
空教室の活用	空き教室の利用方法
39校築50年14校ある	古い
公共の場所？	一部の人の物のようだ
放課後の子供の利用	老人の手伝い

<大事なこと>

地域とのつながり
地域の交流

<将来に向けて>

地域の人に見守られて安全に
地域交流の一体整備

集会施設

<課題>

場所が不明	内容が？
PR不足	公民館稼働率低い
近所の人とのコミュニティ	

<大事なこと>

集中力を高める
隣・近所の人と仲良くなる

<将来に向けて>

元気な老人をボランティアに使用
付加価値をつける
人が集まる拠点を作る
何かあったら助け合える様に

その他

<課題>

人件費のみなおし
情報共有不足
役所をきれいに！

<大事なこと>

ムダをなくしてシンプルに
市民が気持ちよく利用出来る様に

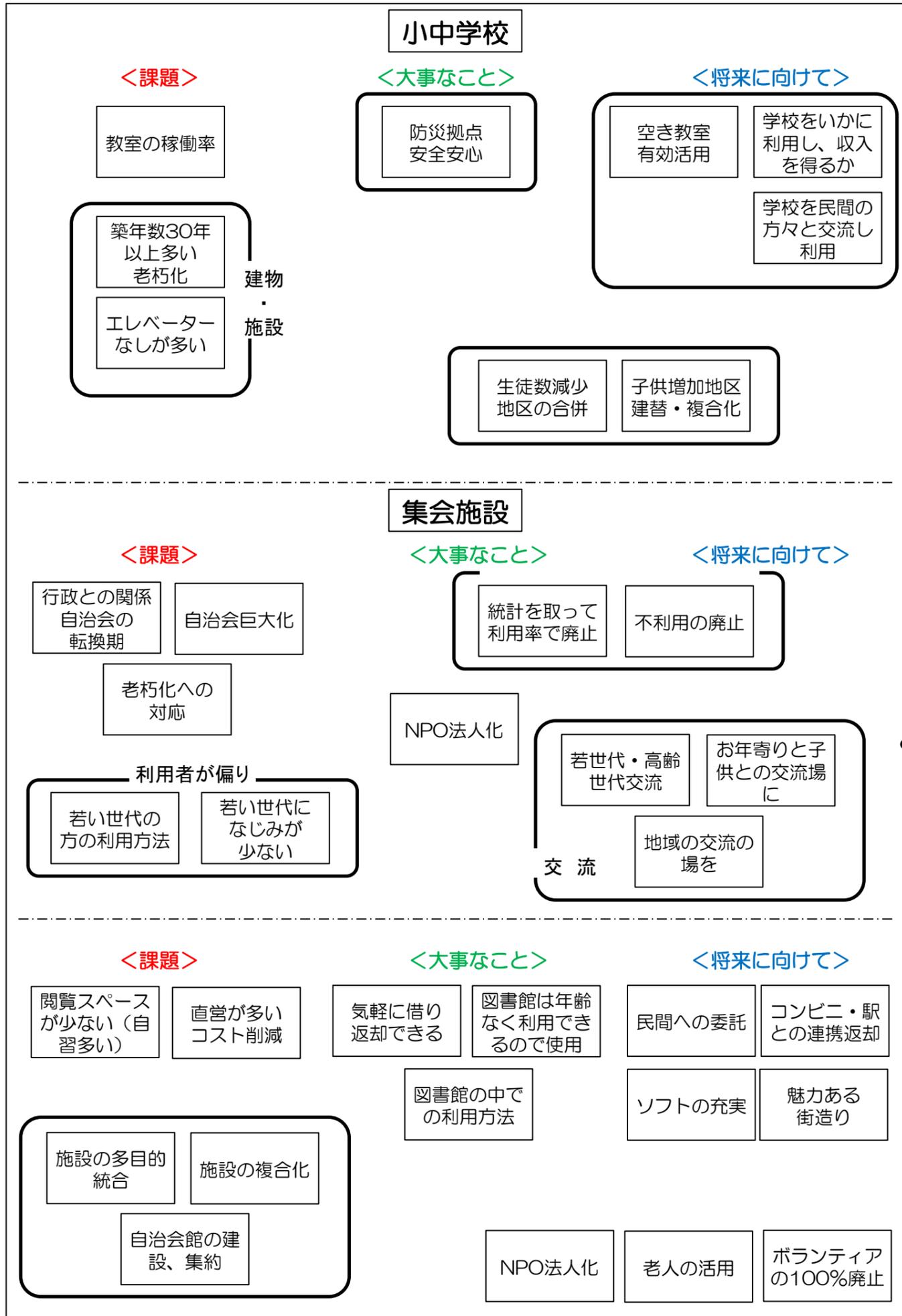
<将来に向けて>

ECでは市会議員はボランティア施行	全国から注目を集める市川へ
外国人の労働者の対応	



- 学校の課題としては、教員への「心のケアの教育」が必要だと思う。空き教室をもう少し市民に開放できないか。共働き家庭のために、放課後、元気な高齢者の見守りの中で子どもが遊べるなど、地域とのつながり、交流ができる一体整備が重要だと思う。
- 集会施設は、場所がどこにあり、何をしているのかPRが不足している。集会施設だけでなく、買い物や子どもの遊びなど、付加価値があるとよいのではないかな。
- 市川市は今後、少子高齢化で財政難になる。全国から注目をあつめる市川市へなるような取組が必要ではないか。





- 学校の課題としては、昔は生徒数が多くて、1クラス45人学級だったが今は生徒数が減っている。今後、統廃合をして残った学校をどう利用するか、民間と交流して利用するなど収益が得られれば、還元できるのではないかな。
- 集会施設は、施設の老朽化が課題。利用されていない施設は若者にもなじみやすい施設とすることが重要。運営をNPO法人化できないかな。
- 将来は若い世代と高齢世代とが交流できる、地域の交流の場となっていくことが重要ではないかな。



市川市 公共施設に関する市民ワークショップ②

テーマ：小中学校

	Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ	Eグループ	その他（意見交換より）	ファシリテーターコメント
課題	<ul style="list-style-type: none"> 児童数の減少（人数が少ない学校） 家族構成の変化（共働き家庭、シングル家庭の子供のケア・人口減少） 校舎の老朽化 水害への対応（居住地によって水害の起きる格差がある・駅周辺） 	<ul style="list-style-type: none"> 将来的には教室があまる 幼稚園（または保育園）と小・中学校が分かれていること 使い方が限定的である 施設が老朽化している 	<ul style="list-style-type: none"> 空き教室がある学校もあれば、無い学校もあるなど、地域差が生まれていること 在学していないと入りづらいため、どう利用したらよいかわからない、利用する機会・きっかけがないなどにより、一般に学校施設が活用されていない 	<ul style="list-style-type: none"> 教員の教育や生徒への対応 空き教室の活用 校舎が古い 公共施設と言うより一部の人の物となっている 放課後の子どもの利用 元気な老人の手伝いが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 教室の稼働率低下 生徒数減少、増加地区への対応 築年数30年以上の老朽化した建物が多い エレベーターの無い学校が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 今回、小中学校のテーマなので出していないが、「保育所の問題」があるような気がする。保育所の併設も必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの減少による「空き教室」が出ていること、いじめなどの「教員の問題」や「子供の多様化に対する教育」の必要性、「地域の利用」、「市川ならではの地域差」などが共通の意見であった。 自治体の魅力づくりとして「子育て支援」サービスの充実が必要。
大事なこと	<ul style="list-style-type: none"> 安全性・快適性（防犯・通学路の安全） 緊急対応（災害時の活用、広い校庭の活用） 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもにとっての安全が一番大事 親にとっての安心が一番大事 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人の子弟が在籍するなどに関して、子どもの多様性を伸ばすことなどを含め、教育面が重要 安全の確保 空き教室の活用等、すぐ廃止ということではなく、利用すべき 	<ul style="list-style-type: none"> 地域との交流・繋がり 	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な場所であること 地域の防災拠点 	—	<ul style="list-style-type: none"> 「市川の特徴である水害対策」の面からも防災拠点としての機能が重要。 「地域とのつながり」や「国際性・多様性」を大事にしていくべき。 学校は校庭なども広く、施設を有効的に活用していく。という意見があった。
将来に向けて	<ul style="list-style-type: none"> 教育のあり方（9年制学校・30人学級・現代にあった教育） 地域に開かれた学校 空き教室の活用（空いているスペースを市民が活用できるように） 施設の改善（統廃合・長寿命化<文科省>） 	<ul style="list-style-type: none"> 学校は防災拠点であるので、災害時にもっと活用できるように工夫できる（ドクターヘリやソーラーなどで屋上利用） 空きスペースの活用として、学童施設との複合化、放課後に自習室として活用するなど そうすることで、成人教育や情操がはぐくまれる環境になっていく 少人数学習の推進と、学校の統廃合が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫校化や、高齢者・障害者施設等との連携を強化する 教育環境の整備に向けて、継続的な投資を行い、質の確保を図る 学童ばかりでなく、多世代が利用できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人に見守られることで安全に 地域交流の一体整備 	<ul style="list-style-type: none"> 空き教室の有効活用 民間活用し、収入を得る 生徒数増減に伴う合併や統廃合、校舎の建替や複合化 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校は、地域によっては人数的にかなり厳しい状況の学校があると感じている。統廃合は免れないと思う。このあたりの方向性についての議論が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 「空き教室活用」の活用も含めた「複合化」、「小中一貫」「自習室活用」「大人も使えるスペース」「もっともっと民間利用されるべき」「校舎の長寿命化が必要」という意見が多かった。 統合や複合化の意見が出ていたが、多いところと少ないところの地域差が際立ってきている。地域の人から自らのこととして自ら考えることが必要ではないか。

市川市 公共施設に関する市民ワークショップ②

テーマ：集会施設

	Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ	Eグループ	その他（意見交換より）	ファシリテーターコメント
課題	<ul style="list-style-type: none"> 利用率の低下（利用者の減少、使う機会が減っている） 利用しにくさ（利用の制約が多い、アクセスが不便なところにある、手続きが煩雑、駐車場が少ない） 施設の老朽化 設備が世情と乖離 公民館のPRが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 設備、建物、スタッフの老朽化 一部の人しか使っていない サービス面でも工夫が必要 施設数が多いのでは？ 	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化が進んでおり、基本設備の利用環境が整っていない 利用者以外にとっては、どう利用できるのか情報が不足していて不明 各施設で、稼働率に格差が生じている 	<ul style="list-style-type: none"> 場所が分からない 内容が分からない PR不足 公民館の稼働率が低い 地域の人とのコミュニティの場にする 	<ul style="list-style-type: none"> 市民と行政の関係 建物や設備の老朽化 若い世代の利用が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ごみ焼却所のそばにある「スポーツジム・プール」ができれば他の地域にも欲しい。使われ求められている施設であれば有料でも構わないと思う。 利用率が下がるという課題があったが、マンションが増え、マンションの中の「自治会の集会室」で完結してしまうところがかんりの数あるはず。まち全体のコミュニティや、人の接触がなくなっている。マンション住民と戸建住民は交流していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 「利用者の減少」「利用に制限がある」「情報発信不足で良くわからない」「老朽化が進んでいる」などの課題が出された。 市川市ならではの課題であるアクセスが良くなれば、利用がしやすくなるということも考えられる。 人と人とのつながり、コミュニティの形成はとても重要。互いを知ることで災害時の活動を行う際に自分たちで助け合うことができる。 建物が老朽化しているという意見があったが、まさに中身が重要になる。マンション住民と戸建住民が交流できる場として活用していくことが課題。
大事なこと	<ul style="list-style-type: none"> 自由に使える場所（バンドなどの趣味、子供のゲーム、ジムなどの共用） 	<ul style="list-style-type: none"> 使いやすさ 面白い企画があること 	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ自主的な雰囲気大切に、地域のコミュニティ形成に役立つような運営をするべき みんなが施設について理解・活用できるような広報・PRを重視すべき 	<ul style="list-style-type: none"> 集客力を高める 隣、近所の人と仲良くなる 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の統計をとる 利用のないところは廃止を検討 	—	—
将来に向けて	<ul style="list-style-type: none"> 少人数でも手軽に利用できること（多人数団体優先でなく） 	<ul style="list-style-type: none"> 先進的な設備を入れると もっと利用が増えるかもしれない 市民講座の充実が必要 備品・サービスの充実が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の備えた対応を考えるべき 効率性を考慮しつつ、改修して機能を維持する 若い人にも活用しやすくする。婚活パーティー開催も一案 	<ul style="list-style-type: none"> 元気な老人をボランティアにする 付加価値をつける 人が集まる拠点を作る 何かあったら助け合える様に 	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代と高齢世代の交流 	<ul style="list-style-type: none"> 集会施設というイメージとして、地域の集まりに使う「自治会館・町内会館」と、社会教育法の目的で整備された「公民館」は分ける必要がある。 利用が少ないのはアピールが少ないのではないのか。広報に載せているが、果たして広報見て使うかどうか。運営方法が重要だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「付加価値づけ」「多世代の交流」「若者が交流できる企画」「ボランティアで運営する」などの意見があった。 施設について、もっと市民が知る状況をつくっていくことが必要。そのためには、運営の方法などについても工夫が必要。

市川市 公共施設に関する市民ワークショップ②

テーマ：その他・全体

	Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ	Eグループ	その他（意見交換より）	ファシリテーターコメント
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ施設・設備（マリンスポーツ）が少ない ・ 公園が少ない（大きな公園・町中の公園） ・ 道路の整備（老人・子どもが歩きやすい歩道・自転車道） 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域によって公園が少なく、トイレの整備もされていないところがある ・ 南北の交通が不自由である。公共プールが活用できない地域がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費の見直し ・ 情報共有不足 ・ 役所を綺麗に 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直営のものが多く、コスト削減 ・ 図書館の閲覧スペースが少ない（自習室が多い） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館の統合ができないかということだが、ITを活用して車で貸し借りが可能になれば、数は減らせるのではないかと。ネットとしない人にとっては、歩いて借りる人も無視できない。 ・ 4日連休で全部休んでいる。公共サービス施設なので、休むのはおかしいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館自体の「利用勝手」のことから、「公園や周辺環境」「散歩道の改善」「南北間の行き来」「道路の改善」など幅広い意見があった。 ・ 図書館は世界的に工夫したものが出来ている。市川市も様々な取り組みがされているが、もっと工夫が考えられると思う。
大事なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全性・快適性の確保（防犯・通学路の安全） ・ 緊急の対応（災害時の活用、広い校庭の活用） 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全・安心の確保、防災面での配慮 ・ 交通・アクセスの改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ムダをなくしてシンプルに ・ 市民が気持ちよく利用出来る様に 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誰でも利用しやすいこと 	—	—
将来に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「文教都市」にふさわしい特色をアピール ・ 美術館へのアクセスよくしたい ・ みんなにわかりやすい施設・催しの情報発信（ネット以外で） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複合化！（学校＋集会施設、学校＋高齢者施設、学校＋幼・保、学校＋図書館） ・ 施設の統合は必要。その際には配置バランスを考え、施設が遠くなる場合は循環バスを活用する ・ 図書館は、受取窓口を便利なところにつくることで統合も可能になる ・ 何をするにも、お金の問題。財源確保はどうしていくか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路、散歩道（コース）を整備する ・ 博物館等でのイベント開催や、公共施設での祭りなど、イベントを積極的に開催する ・ 悲観的にならないようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市議会議員はボランティアを施行 ・ 外国人の労働者の対応 ・ 全国から注目を集める市川へ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間への委託 ・ コンビニや駅との連携（利便性アップ） ・ ソフト面の充実（建物・施設よりもサービス内容重視） ・ 利用方法の見直し ・ 魅力のある街づくり ・ 老人の活用 ・ 施設の多目的・複合化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館が遠く行きにくい地域の方のことを考えて、移動図書館を充実すると良い。 ・ 学校の複合化の案があったが、学校に一般の人が入ることは工夫が必要。千代田区の学校のように、階で一般と学校を仕分けるなどの仕組みが必要。簡単に空き教室を使うということは不可能な状況。自習室が使えないかという意見があったが、市川市内は省エネで暗い。生徒が暗い中を帰宅する時の安全面を考える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的にはスリム化を図りながら、運営の方法として「民間活用」や「若者が入れる法人化」「シルバーの活用」などの意見があった。 ・ また、「複合化」「アクセスの利便性」を重視する意見が多かった。 ・ 市川市の魅力を外へ発信するPRも必要である。 ・ 学校については、現在さいたま市で具体的な複合化の検討を進めているが、子ども達の安全確保が大きな課題となっている。